



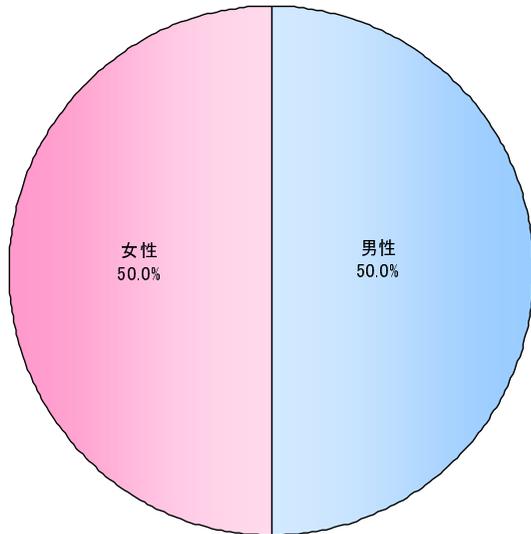
回答者のプロフィール



回答者のプロフィール

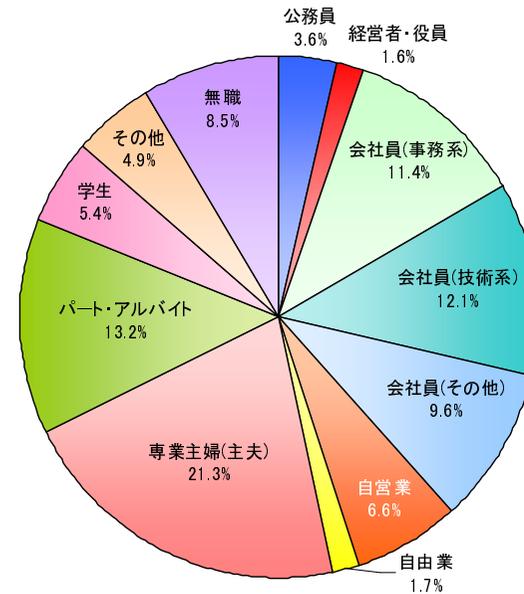
性別

n=3100(SA)



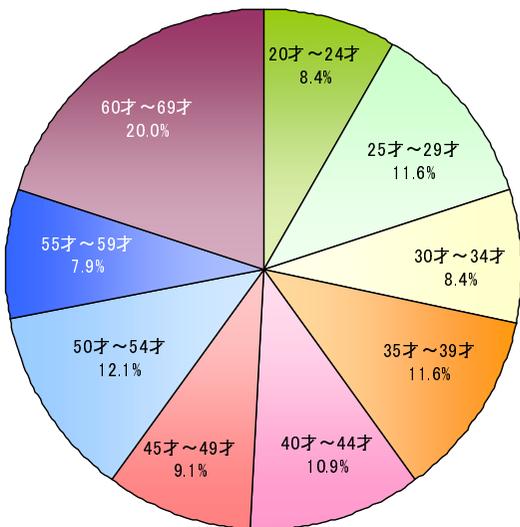
職業

n=3100(SA)



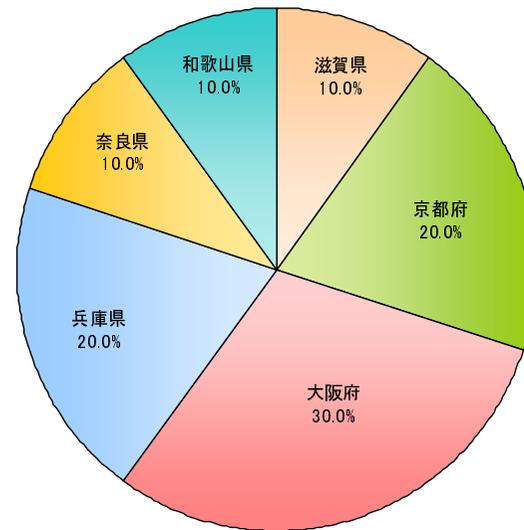
年齢

n=3100(SA)



居住地

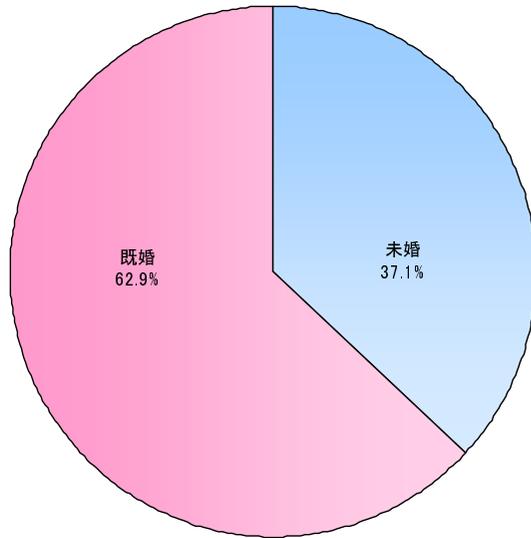
n=3100(SA)



回答者のプロフィール

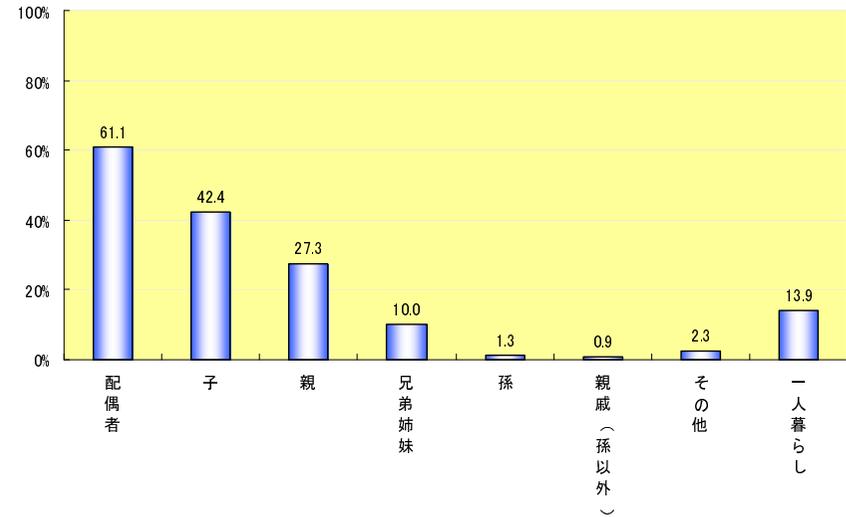
未既婚

n=3100(SA)



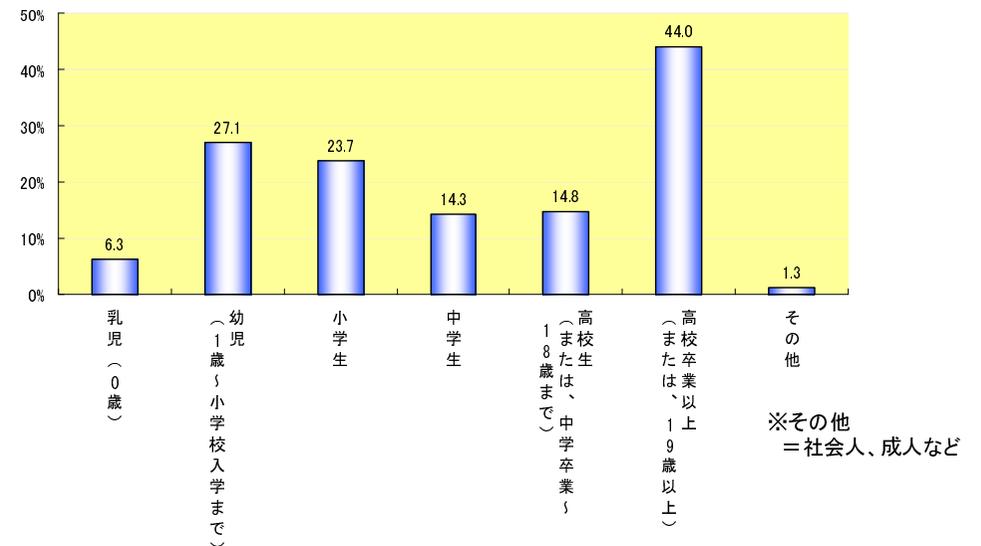
同居家族

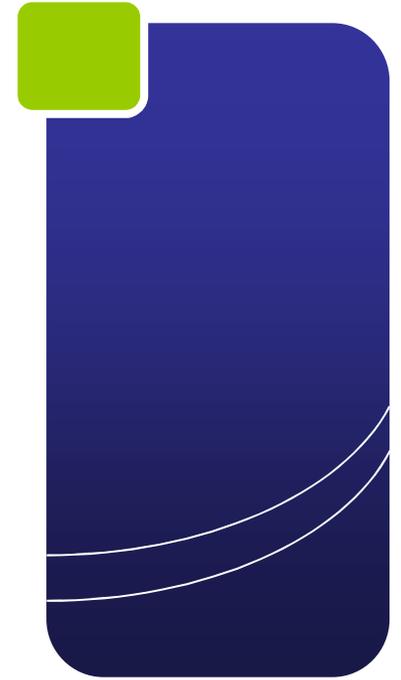
n=3100(MA)



同居している子の年齢

n=1315(MA) 子ども同居者ベース





付録：調査票

【調査画面】

次の設問は、以下の2種類のCM画像を見てからお答えください。

▼ 以下のボタンをクリックすると別画面で画像表示されます。▼
必ずクリックして、別画面に表示される画像全体をよくご覧ください。

▶ CM画像を表示

Q1 今年に入ってから本日まで期間に、このCMを見たことがありますか。
【必須入力】

- 1. 両方とも見たことがある
- 2. Aだけ見たことがある
- 3. Bだけ見たことがある
- 4. 両方とも見たことがない

▼ 以下のボタンをクリックすると別画面で画像表示されます。▼
別画面に表示される画像全体をよくご覧ください。

▶ CM画像を表示

Q2 このCMをどこでみた記憶がありますか。(いくつでも)
【必須入力】

- 1. テレビCM
- 2. テレビのニュースや番組
- 3. 街頭ビジョン
- 4. その他

▼ 以下のボタンをクリックすると別画面で画像表示されます。▼
別画面に表示される画像全体をよくご覧ください。

▶ CM画像を表示

Q3 「A」「B」それぞれのCM(CM画像)の印象について、
下記の中からあてはまるものをお選びください。(それぞれいくつでも)
【必須入力】

	1 怖い	2 かわいそう	3 痛々しい	4 心に響く	5 今までになく画期的	6 説得力がある	7 インパクトがある	8 子どもを助けなくなる	9 その他	10 特に何とも思わない
A「絵巻」について	<input type="checkbox"/>	<input type="text"/>	<input type="checkbox"/>							
B「Q&A篇」について	<input type="checkbox"/>	<input type="text"/>	<input type="checkbox"/>							

▼ 以下のボタンをクリックすると別画面で画像表示されます。▼
別画面に表示される画像全体をよくご覧ください。

▶ CM画像を表示

Q4 この2種類のCM(CM画像)をご覧になった後のあなたの意識や行動の変化として、
該当する答えを全てお選びください。(いくつでも)
【必須入力】

- 1. 児童虐待に気づいたら通告したいと思う気持ちが強くなった
- 2. 通告へのためらいが軽減された
- 3. 児童虐待のシグナル(兆し)がどのようなことかわかった
- 4. 児童虐待が社会的に重要な問題であることに気づいた
- 5. 児童虐待が起こっていないゆえ、気をつけて周囲を見たい
- 6. 周囲(隣近所など)との付き合いを、今よりも積極的にやりたいと思うようになった
- 7. 児童虐待防止について、関心が高まった
- 8. その他
- 9. 特に変化はない

【調査画面】

Q5 児童虐待に気づいた際に、通告にあたって、何か気になること、不安に感じることはありますか。(いくつでも)
【必須入力】

- 1. 通告者(自分)の情報が相手に伝わらないか心配
- 2. 相手からの仕返しが怖い
- 3. 間違いで相手に迷惑をかけないか心配
- 4. しつけと虐待の区別がつきづらい
- 5. 通告しても、虐待が解決されるのかどうか心配
- 6. その他
- 7. 気になること、不安に感じることは特になし

Q6 通告の電話番号(児童相談所全国共通ダイヤル0570-064-000)について、ご存知でしたか。
【必須入力】

- 1. 番号を知っていた
- 2. 番号までは分からないが、通告窓口があることを知っていた
- 3. 番号も通告窓口があることも知らなかった

次の説明は、オレンジリボン(運動)についての説明を見てからお答えください。

オレンジリボンには、子ども虐待を防止するというメッセージが込められています。

2004年9月、栃木県で二人の幼い兄弟が虐待により亡くなる事件が起きました。

その事件をきっかけに、子ども虐待防止を目指し、民間団体やNPO法人、厚生労働省、地方自治体等の協働により、11月の児童虐待防止推進月間を中心に、広報・啓発など全国的な活動を広げています。



Q7 オレンジリボン(運動)の存在を知っていましたか。
【必須入力】

- 1. 内容まで知っていた
- 2. マークと名前を知っているが、内容は知らなかった
- 3. マークのみ知っていたが、内容は知らなかった
- 4. 名前のみ知っていたが、内容は知らなかった
- 5. 全く知らなかった

▼ 以下のボタンをクリックすると別画面で画像表示されます。▼
必ずクリックして、別画面に表示される画像全体をよくご覧ください。

▶ 新聞広告を表示

Q8 この新聞広告を見たことがありますか。
【必須入力】

1 見たことがある

2 見たことがない

▼ 以下のボタンをクリックすると別画面で画像表示されます。▼
別画面に表示される画像全体をよくご覧ください。

▶ 新聞広告を表示

Q9 新聞広告の印象について、下記の中からあてはまるものをお選びください。(いくつでも)
【必須入力】

- 1. 怖い
- 2. かわいそう
- 3. 痛々しい
- 4. 心に響く
- 5. 今までになく画期的
- 6. 説得力がある
- 7. インパクトがある
- 8. 子どもを助けたくなる
- 9. その他
- 10. 特に何とも思わない

【調査画面】

Q10 テレビCMや新聞広告以外で、児童虐待防止のキャンペーン活動を見たり、聞いたりしたことがありますか。(いくつでも)

【必須入力】

- 1. 駅のポスター
- 2. 駅前や街頭でのイベント・チラシ等の配布
- 3. 商業施設のポスター、チラシ
- 4. 駅・商業施設でのイベント
- 5. スポーツの試合(サッカー、フットサルなど)
- 6. 雑誌広告
- 7. ラジオ放送
- 8. webのバナー広告
- 9. 自治体の広報誌
- 10. その他

11. 見たり、聞いたりしたことはない

Q11 児童虐待防止について、行政としてするべきことはなんでしょうか。(いくつでも)

【必須入力】

- 1. もっと積極的に広報啓発を行うべきだ
- 2. 児童相談所の職員を増やすべきだ
- 3. 児童相談所の権限(強制的な立ち入りなど)をもっと強くなるべきだ
- 4. 通告を呼びかけるのではなく、保護者に虐待をやめるよう訴えかけるべきだ
- 5. 保護者に対し、一人で悩まず相談するよう呼びかけるべきだ
- 6. 虐待にいたる前に保護者の子育てを支援すべきだ
- 7. 児童相談所以外にも、身近に相談できる場所をもっと作るべきだ
- 8. 中学生や高校生のころから、子育てや親としての心構えなどの教育を行うべきだ
- 9. その他

10. 行政が税金を使ってするべきことではない

Q12 児童虐待防止について、自分達がするべきことはなんでしょうか。(いくつでも)

【必須入力】

- 1. 虐待に気づいたら通告する
- 2. 周囲の児童に関心を持つ
- 3. 地域の子育て家庭が孤立しないよう声をかける
- 4. 父親、母親など誰かひとりに負担がかからないよう、家族が子育てに参加する
- 5. その他

6. 自分たちがするべきことではない

Q13 児童虐待を受けていると思われる児童を見つけた人は、通告することが義務づけられていますが、そのことをご存知でしたか。

【必須入力】

- | | |
|-----------------------|-----------------------|
| 1
義務であることを知っていた | 2
義務であることを知らなかった |
| <input type="radio"/> | <input type="radio"/> |

Q14 あなたにとって、児童虐待とはどの程度関心度の高い問題ですか。

【必須入力】

- | | | | | |
|-----------------------|--------------------------|-----------------------|--------------------------|-----------------------|
| 1
関心度の高い問題である | 2
どちらかといえば関心度の高い問題である | 3
どちらともいえない | 4
どちらかといえば関心度の低い問題である | 5
関心度の低い問題である |
| <input type="radio"/> | <input type="radio"/> | <input type="radio"/> | <input type="radio"/> | <input type="radio"/> |

Q15 あなたが同居しているご家族をお答えください。(いくつでも)
※あなたから見た役割でお答えください。

【必須入力】

- 1. 配偶者
- 2. 子
- 3. 親
- 4. 兄弟姉妹
- 5. 孫
- 6. 親戚(孫以外)
- 7. その他
- 8. 一人暮らし

【調査画面】

Q16 あなたの、同居のお子様の年齢をお答えください。(いくつでも)
【必須入力】

- 1. 乳児(0歳)
- 2. 幼児(1歳~小学校入学まで)
- 3. 小学生
- 4. 中学生
- 5. 高校生(または、中学卒業~18歳まで)
- 6. 高校卒業以上(または、19歳以上)
- 7. その他

Q17 子育てについて悩みが生じた場合に、以下のような公的機関や民間機関に相談してみたいと思いますか。
また、家族や知人・友人等、身近な人に相談しようと思いませんか。
それぞれについて、お答えください。
【必須入力】

	1 とても 思いません	2 思いません ほどです	3 どちらか 程度です	4 思いません ほどです	5 とても 思います
1. 児童相談所	<input type="radio"/>				
2. 市区町村の児童相談担当課	<input type="radio"/>				
3. 民生児童委員	<input type="radio"/>				
4. NPO等の相談機関	<input type="radio"/>				
5. 保育所・幼稚園	<input type="radio"/>				
6. 学校	<input type="radio"/>				
7. 子育てサークル	<input type="radio"/>				
8. 家族	<input type="radio"/>				
9. 知人・友人	<input type="radio"/>				

Q18 近隣の方との関わり方に関する下記の項目について、あなたはどの程度行っていますか。
【必須入力】

	1 積極的に 行っています	2 どちらか といえば 積極的に 行っています	3 あまり 積極的に 行って いません	4 積極的 に行って いません
1. 挨拶する	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
2. 行き来したり一緒にどこかへ遊びに行ったりする	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
3. 自治会の会合に出席する	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
4. 地域のイベントに参加する	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>